

2018年 カパティ フィリピンスタディツアー 旅程表

日程	活動内容	ワンポイント解説
2月23日(金)	出発:セブ島へ夜到着(フィリピン航空:PR433便) 宿舎へ移動後、夕食、休息	成田から直行便で約4時間のフライトです。 成田14:25発/セブ19:00着
2月24日(土)	午前:カパティの奨学生たちによる歓迎会 午後:市内観光(サント・ニーニョ寺院、マゼランクロス、カルボンマーケットなど)	現地スカラーの交流や市内観光を通して、フィリピンを身近に感じるきっかけづくりができます
2月25日(日)	終日、ホームステイ(スラム地域にて)	ホストファミリーと一緒に過ごし、フィリピン人の生活を実体験することができます
2月26日(月)	午前:ホームステイ(続き)、ホストファミリーと学校訪問 午後:ワクワークイングリッシュ訪問、ダンピングサイト訪問	貧困問題社会起業家の取り組みやゴミ山エリアで暮らすスカベンジャーの生活について知ることができます
2月27日(火)	午前:ローデシュバリッシュの給食センター/ /プレイグループ(幼児向け学習支援)/ 理学・作業療法センター訪問 午後:マザーテレサの乳幼児施設への訪問 奨学生たちとの交流	ローデシュバリッシュ教会のアクティブティを通して貧困エリアの支援の状況を知ります。各施設の訪問を通して、フィリピンの現状の一部を見ることができます
2月28日(水)	午前:マニラへ移動(フィリピン航空:PR2850便) 午後:宿舎でオリエンテーションと休憩	セブ10:30発/マニラ11:30着
3月1日(木)	午前:リラ・ピリピナ訪問:元従軍慰安婦の方との交流 午後:クヤセンター訪問:ストリートチルドレンの実生活の現場訪問	・第2次世界大戦時の慰安婦だった方の体験とその補償請求の取り組みを直接聞くことができます ・ストリートチルドレンの実情を知ることができます
3月2日(金)	終日:パンパンガ州訪問(ピナツボ火山被災エリア) カパティが支援しているラーニングセンター(プレスクール)の訪問 クラーク元米軍基地の化学物質汚染の被害者支援施設の訪問	・カパティが支援しているラーニングセンターで子どもたちの教育の様子を見ることができます ・ピナツボ火山被災エリアで暮らす人々の現状を知ることができます
3月3日(土)	午前:バクロッド・タオ:災害・環境リスクマネジメントを行うNGO訪問 午後:イントラムロス:フィリピン文化を象徴する史跡	・災害が多い国としてフィリピンにおける災害・環境リスクへの対応を知ることができます。 ・フィリピンの歴史や文化を知ることができます
3月4日(日)	午前:フリータイム: 午後:パティスセンター:女性の人身売買被害者の支援NGOとの交流	・エンターテイメントビザで外国で働くフィリピン人女性が直面している問題を知ることができます
3月5日(月)	午前:モンタルバン:聖心会施設の訪問 午後:COSE(シニア層のコミュニティ)訪問 夜:お別れ会	・聖心会が取り組む保育事業、若者のリーダーシップ開発、母親の収入創出支援プログラムを学びます ・NGO COSEが支援するシニアコミュニティの人々の暮らしを知ることができます。
3月6日(火)	午前:10日間のリフレクション 午後:成田へ向けて出発(フィリピン航空:PR432)	PR432:マニラ14:50/成田20:10